



「つくる」

【アスペクト特性】

- 結果に向かったのプロセスを表す
- ている、てる(口語的) 進行態を表す
「ベランダに蜂が巣をつくってる」
「なにつくってるの？」

「1時間**で**ホームページを作る」

「*ホームページを1時間**つくる**」

→活動動詞ではない



「つくる」

【アспект特性】

「ゼロからつくっている」→習慣的、繰り返し

「一時間でゼロからつくる」

「* 一時間ゼロからつくる」

「朝7時につくったチャーハン。

夕方6時に電子レンジで温めたら、
夜10時に食べても問題ないですか？」

(インターネットからの文を引用)



「つくる」

【人称制限】

「つくる」には人称制限なし

「私が晩御飯をつくった。」

「あなたが晩御飯をつくった。」

「太郎が晩御飯をつくった。」

「つくる」

【意味と文型】コア

コア：具体的な材料あるいは原料を用いて意図的に異なったものに変化させる。結果に焦点が当たる。

→「ヒトがモノ(原料・材料)でモノをつくる」

「つくる」の疑問詞文

(ダレがナニでナニをつくったのか)

【*ダレをつくる】

- ・「子どもをつくる」「ひとをつくる」は可能。
- ・特定の人物は困難。(例:「*花子をつくった」)

【*ドコをつくる】

「ドコをつくる」は出来たもののどの部分を作ったのかという意味では可能。

(例:「どこをつくったの?」「橋げたをつくったんです」)

「つくる」

【意味と文型】付随的意味

- 原料・材料を明示する必要はないが、無からものが出来る場合には用いられない。また作るプロセスは少々手間がかかることが多い。出来上がったものはしたがって複雑な構造を持つことが多い。目的語は出来上がったものをさす。

例：「何で人形を作ろうか。」

「ありあわせのもので何をつくろうかと考えた。」

「紙で人形をつくる。」

「ありあわせのもので晩御飯をつくる。」



「つくる」

【ブロッキング】

ブロッキング:カバーする範囲の一部が既存のもので
とって代わられる

- ・基本動詞「ごはんをつくる」は食事をつくるという意味。
- ・「こめをつくる」は稲を栽培し、米を実らせるという意味。
- ・お米のご飯をつくることは「ご飯を炊く」という。
- ・「小説を作る」は普通言わない。
→「小説を書く」